

**P36b**      **ブライトリム分子雲における小規模連鎖的星形成**

小倉 勝男 (国学院大)、N. Chauhan、A.K. Pandey (ARIES, インド)、伊藤 洋一 (神戸大理)

HII 領域にみられるブライトリム分子雲は電離ガスの膨張に伴う衝撃波で圧縮されて星形成がトリガーされると考えられている。ブライトリム分子雲が clumpy だったり O 型星からの紫外線放射が増大しつづけるような場合には O 型星側から HII 領域の外側に向かって星形成が連鎖的に進んで行くことが期待される (*Small-Scale Sequential Star-Formation* 仮説、Sugitani, Tamura and Ogura 1995)。

この仮説を定量的に検証するために、4 つのブライトリム分子雲に伴う小星団の  $BVI_c$  測光観測を行った。星間吸収量を  $JHK_s$  2 色図を使って星毎に求めて補正し、 $V/V-I_c$  色等級図を作って各星の年齢を求めた。どの星も数 10 万 ~ 数 100 万年という、予想通りの結果が得られた。そしてブライトリムの外 (すなわち HII 領域で O 型星側) の星々では平均年齢が大きく、ブライトリムの上ないし内側の星々では平均年齢が小さい、という傾向が 4 つのブライトリム分子雲全てにみられた。したがって先の仮説は実証された、と言えそうである。ただしいずれの場合にも星数が少なく error bar が大きいので、今後さらにサンプル数を増やす必要がある。